

伊勢國お庭街道 ～庭園を巡る令和のお伊勢参り～（三重県）

ストーリー・将来のビジョン

テーマ: ガーデンツーリズム(庭園観光)を通して
本来のお伊勢参りを復活すること

- 三重県には、「一生に一度はお伊勢参り」と言われるほど日本人の憧れの地である伊勢神宮が存在。江戸時代、多くの庶民が、お伊勢参りの前後に県内のさまざまな観光地を巡りながら宿泊。
- 将来ビジョン: 2033(令和15)年の第63回式年遷宮に向け、多くの参拝者に県内で宿泊・滞在いただけるよう、庭園のある街道周辺の食や歴史、伝統・文化、産業、花の名所等を組み合わせた周遊・滞在型のガーデンツーリズムの推進により、街道周辺に賑わいを創出する。

取り組み概要

- 取組主体: みえガーデンツーリズム協議会
- 構成団体:
 - ・会員(庭園)
 - ・オブザーバー(自治体)
 - ※三重県、桑名市、菰野町、鈴鹿市、津市、松阪市、玉城町
 - ・賛助会員(交通事業者、旅行会社、広告会社など)
 - ・協議会事務局(一般社団法人菰野町観光協会)
- 取組概要:
 - ① 広報事業(パンフレットやHP、インスタグラムなどのツール制作、広報パートナー制度創設など)
 - ② 共同キャンペーンツール制作(伊勢國お庭街道のスマートお庭印)
 - ③ 伊勢國お庭街道ツアー開発(団体・個人、含インバウンド)
 - ④ 参画庭園の拡大(R8以降)

構成庭園

7つの庭園は伊勢神宮へと続く街道沿いに存在。
各庭園管理者は、街道周辺を活性化し賑わいを創出するため、旅行者への情報発信や案内・おもてなしを積極的に推進。

- ① **六華苑(旧諸戸清六邸)**: 桑名市、公共、約18,000㎡
江戸時代の東海道唯一の海路である七里の渡しからほど近く、「山林王」と呼ばれた二代諸戸清六が作った庭園と邸宅。
- ② **横山氏庭園(通称: 菰野横山邸園)**: 菰野町、民間、846.1㎡
横山家に伝わる『伊勢三十三所観音霊地巡礼記』によれば、江戸時代、伊勢の参宮客が帰路に行った「伊勢三十三所観音巡礼」の巡礼路には、菰野の2つの観音が含まれた。重森三玲作庭の庭園。
- ③ **伊奈富神社庭園(通称: 七島池)**: 鈴鹿市、民間、約4,000㎡
江戸時代中期には花の名所としても認識され、伊勢参宮の人々も境内の古代庭園「七島池」とともに、景観を楽しんだことがうかがえる。
- ④ **真宗高田派本山専修寺 雲幽園**: 津市、民間、10,750㎡
街道の交差点という位置柄、古くからお伊勢参りの道中に参拝され栄えた、県唯一の国宝建造物を有する寺院。
- ⑤ **北畠氏館跡庭園**: 津市、民間、約850坪
日本三大武将庭園の一つ。当地域は北畠氏の城下町として栄え、江戸時代の宿場町は多くの参宮客で賑わった。
- ⑥ **旧長谷川治郎兵衛家**: 松阪市、公共、4,688.4㎡
伊勢街道沿いのおもてなしの心が残る松阪を代表する豪商の一つ。四季折々の風情を楽しむことができる庭園。
- ⑦ **玄甲舎(金森得水 別邸兼茶室)**: 玉城町、公共、826.44㎡
伊勢の参宮客が西国三十三所巡りの旅に出る際、玉城町はその出立の地であった。

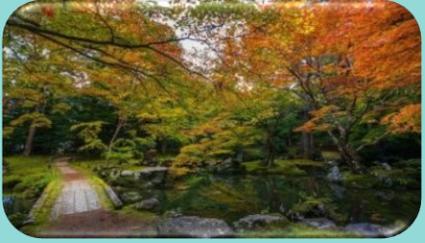
伊勢國お庭街道 ～庭園を巡る令和のお伊勢参り～ (三重県)

対象地域

カッコ内は庭園管理者



②横山氏庭園(横山陽二)



⑤北畠氏館跡庭園(北畠神社)



⑦玄甲舎(玉城町)



①六華苑(桑名市)



③伊奈富神社庭園(伊奈富神社)



⑥旧長谷川治郎兵衛家 (特定非営利活動法人 松阪歴史文化舎)



④真宗高田派本山専修寺 雲幽園 (真宗高田派本山専修寺)